

空き家バンク利用者
ローン金利引き下げ

多治見市移住制度に
十六銀と東濃信金

多治見市が移住定住促進制度として空き家・空き地バンクを今月1日に創設したのに伴い、十六銀行と東濃信用金庫が5日から制度利用者に対する住宅ローンの金利引き下げなどを実施する連携事業を始めた。

連携事業は、同バンクを利用して中古住宅を購入し

た人が適用対象。両金融機関ともローン金利を引き下げるほか、ローン審査を受ける人の勤続年数要件を撤廃する。

市移住定住推進室の担当者らは、「市の人口減少を何とかして食い止めたい。今回は地元企業や団体との協力を進める施策の一つ」と話す。
(山本貴史)